

誰もできない、に挑む。



2017年2月15日

「異業種企業間連携による分散型エネルギーの面的利用の実現」が  
平成28年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

東京ガスエンジニアリングソリューションズ（社長：野畑 邦夫、以下「TGES」、東京ガス株式会社100%子会社）が日産自動車横浜工場とJ-オイルミルズ横浜工場の間で構築した「異業種企業間連携による分散型エネルギーの面的利用の実現」が、平成28年度省エネ大賞<sup>※1</sup>の「省エネルギーセンター会長賞（共同実施分野）」を受賞し、本日、表彰式が行われました。

なお、今回の受賞は、TGESをはじめ、日産自動車株式会社、株式会社J-オイルミルズ、横浜市の共同受賞となります。

※1：省エネ大賞

一般財団法人省エネルギーセンターが実施するもので、事業者や事業場等において実施した他者の模範となる優れた省エネ取り組みや、省エネルギー性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰するものです。この表彰事業では、公開の場での審査発表会や受賞者発表会、さらには全応募事例集や受賞製品概要集などを通じ、情報発信や広報を行うことにより、わが国全体の省エネ意識の拡大、省エネ製品の普及などによる省エネ型社会の構築に寄与することを目的としています。

<「省エネルギーセンター会長賞」受賞のポイント>

このたびの受賞は、公道（一般道路・高速道路）を挟んで隣り合った、業種、エネルギー需要が異なる工場に行政と連携をすることで、熱導管を速やかに敷設し熱の面的利用を実現。コージェネレーション運用効率の最大化を可能にしたことで、大幅な省エネルギーを実現したことなどについて、高い評価をいただいたものです。

<表彰式の概要>

- ・日 時：2017年2月15日（水）10:15～12:00
- ・場 所：東京ビッグサイト レセプションホールA
- ・弊社出席者：代表取締役専務執行役員 営業本部長 高柳 雅己

<「異業種企業間連携による分散型エネルギーの面的利用の実現」の目的>

2つ以上の工場におけるエネルギー需要を分析し、エネルギーの面的利用を行うことで各工場が単独で省エネを行うよりも大きな効果を期待できます。今回はコージェネレーション運用効率の最大化を可能にしたことにより、大幅な省エネルギー（原油換算4,100kL/年）とCO<sub>2</sub>排出量の削減（8,000t-CO<sub>2</sub>/年）を実現しました。

TGESは東京ガスグループの「チャレンジ2020ビジョン」で掲げた、コージェネレーションシステム等の分散型電源を活用した、エネルギーの面的利用、スマートエネルギーネットワークの構築等により、省エネ・省CO<sub>2</sub>やエネルギーセキュリティの向上に貢献いたします。

<表彰式の様子>

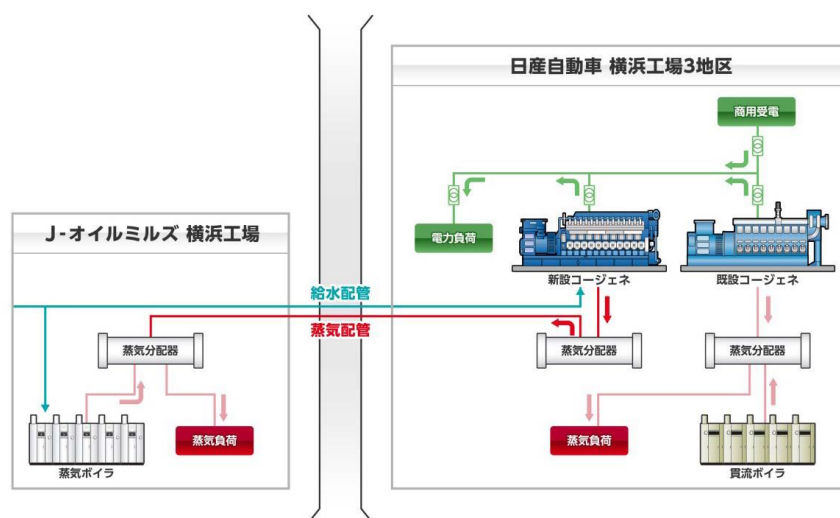


<ご参考 異業種企業間連携による分散型エネルギーの面的利用の実現について>

(1) 概要

日産自動車横浜工場内のエネルギー効率化のために8,730kWのガスエンジンコージェネレーションシステムを導入し、電力を同工場へ供給する一方で、廃熱を回収してつくった蒸気をJ-オイルミルズ横浜工場へ供給することで大幅な省エネルギー（原油換算 4,100kL/年）とCO2排出量の削減（8,000t-CO2/年）を実現しました。

(2) 熱の面的利用エネルギーフロー図



※蒸気配管、コージェネ、蒸気分配器については東京ガスエンジニアリングソリューションズが資産として所有。

(3) その他の受賞について

本件はコージェネ財団（一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター）より平成28年度 コージェネ大賞（産業用部門）優秀賞を受賞しております。

<報道機関からのお問い合わせ>

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 経営企画部 島川 佐藤（電話：03-6403-8504）

**東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社**

〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング

<http://www.tokyogas-es.co.jp/>